

放射線科学域 修士論文書式 (ver. 16.05.06)

1. 論文の形式、書式およびページ数

- (1) ワードプロセッシングソフトウェアを用いて作成する。
- (2) 図表は本文中に挿入する。
- (3) 日本語論文の場合、A4 横書き、40 行/ページ、40 文字/行の 1,600 字/ページとし、100 ページ以内とする。
- (4) 英語論文の場合、A4、ダブルスペースとし、200 ページ以内とする。

2. 論文記述上の注意

- (1) 原則として国際単位系 (SI) 表記法、西暦を使用する。
- (2) 外国語での人名、用語等は、原語で記述する。
- (3) 略語を使用する場合は、最初の記述箇所で原語またはフルスペルを記述し、続いてカッコ内に以降使用する略語を記述する。

3. 引用文献の記載方法

- (1) 引用箇所の右肩に、順に 1)、2) の引用番号を付し、引用文献のページに出典を記載する。
- (2) 雑誌の場合 著者名：題名，雑誌名，巻（号）：引用ページ，発行年の順に記載する。

(例)

井村恒郎：知覚抗争の現象について，精神経誌，60：1239-1247，1589.

Baxter LR, Schwartz JM, Phelps ME, et al.: Reduction of prefrontal cortex metabolism common to three types of depression, Arch Gen Psychiatry, 46: 243-250, 1989.

- (3) 単行本の場合 著者名：題名，監修または編者，書名，版数，：引用ページ，発行社名，発行地，発行年の順に記載する。

(例)

八木剛平，伊藤斉：躁鬱病．保崎秀夫編著，新精神医学：282-306，文光堂，東京，1589.

Gardner MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA (ed), The Acute Leukemia: 327-359, Marcel Dekker, New York, 1987.

- (4) 著者が 4 名以上の場合、3 名を連記し、○○○○他、または○○○○ et al. とする。

4. 論文の構成と体裁

次の順で印刷し、製本すること。本文から引用文献までのページ下中央にページ番号を記すこと。

ブック形式の場合

- (1) 表紙 (別紙様式 1 を使用し作成すること)
- (2) 白紙 1 枚 (空白ページ 2 ページ分)
- (3) 要旨 (別紙様式 3 で作成すること)
- (4) 目次
- (5) 本文 (第 1 章 序論から 最終章 結語の順で記述すること)
- (6) 引用文献 (3. 引用文献の記載方法に従うこと)
- (7) 謝辞 (必要な場合)

学術論文形式の場合

- (1) 表紙（別紙様式 1 を使用し作成すること）
- (2) 白紙 1 枚（空白ページ 2 ページ分）
- (3) 要旨（別紙様式 3 で作成すること）
- (4) 主論文別刷り
- (5) 主論文が共著の場合は、共同筆者の許諾書
- (6) 副論文目録ならびに要旨
- (7) 謝辞（必要な場合）

5. 提出書類および部数

次の表に記載された書類を指定の部数提出すること。

表 提出書類・部数一覧

	書 類	様 式	部 数
1	学位申請書	紙媒体（様式 2）	正 1 部
2	論文	紙媒体	正 1 部、写 5 部
3	要旨	紙媒体（様式 3）	正 1 部、写 16 部
4	論文および要旨	「4. 論文の構成」に指定の順で、一つの PDF ファイルに結合した状態とすること。	CD または DVD1 枚（表面に学修番号、氏名、論文題名を記入する。）
5	複製に関する許諾書	紙媒体（様式 5）	正 1 部
	（単位修得証明書）		（事務局で用意）